

令和3年度 保護者等からの事業所評価の集計結果

【放課後等デイサービス 橋センター】

事業所名 くろかみ学園児童発達支援センター (橋センター)

保護者等数 (児童数) 63 回収数 49 割合 78%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	43	5	0	・無回答1	・グラウンドや中庭等も活用して、活動スペースが十分確保できる様配慮しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	41	7	0	・無回答1 ・聴覚障害に対する関わり方について、教えていただきたいです。 ・適切であると思うが、実際に見ていないのでよく分からない。	・聴覚障害者の方の支援については、センターでは専門的に取り扱っていないため、関わり方についてお教えできることは少ないです。申し訳ございません。聴覚障害のある利用者様にはできるだけ視覚カードなど用いて、活動の内容などをお伝えするなど、利用者様に分かりやすい支援方法で接するように心掛けています。  (職員の主な資格) 保育士6名、教員免許3名 社会福祉士3名、介護福祉士3名、看護師4名 言語聴覚士2名  (研修参加状況 令和3年度見込み) 年間35件、延べ52名参加
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	45	4	0		・施設内はバリアフリー化されています。障害者トイレなども完備しています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画(※1)</u> が作成されているか	45	4	0		・利用者様と保護者様のニーズや課題をお聞きし、課題にあった放課後等デイサービス計画を作成するよう心掛けています。
	⑤ <u>活動プログラム(※2)</u> が固定化しないよう工夫されているか	45	4	0	・数年、作業(プリントのシール貼りなど)の変化がないように感じています。 ・利用回数が少ないので、詳しくは分からない。 ・利用日数が少ないので、どちらとも言えません。	・活動プログラムは、その日のチーフと児発管が考え、音楽、運動、創作、外出、調理などを組み合わせ固定化しないよう工夫しています。ワークについても新しいワークを取り入れるなど、固定化しないよう配慮します。 ・コロナ禍で、活動が制限されている現状もあります。ご理解のほどよろしくお願ひ致します。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	31	5	・無回答3 ・コロナであってないのでは? ・交流があっているかわからない。6 ・利用日数が少ないので、どちらとも言えません。 ・すみません。知る機会がなく把握できていません。	・放課後児童クラブ等との交流は行っておりません。コロナ禍の為、不特定多数の人との接触の機会を減らしています。

保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	47	2	0		・丁寧な説明をするよう心掛けます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	47	2	0	・必ず送迎時にその日の状況を伝えてもらえて、助かっています。 ・児発の頃から口頭での申し送りもしっかりして頂き、様子がよくわかる。 ・いつもお迎え時に様子など説明して下さっています。	・必要に応じて電話連絡等を行い、利用者様の状況や課題について共通理解できるように配慮します。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	6	3	・くろかみ流の支援会議となりえるものを実現して欲しい。 ・相談にもしっかりとのって来て、面談や助言もして頂き大変ありがたかったです。 ・分からなくてすみません。	・必要に応じて、学校や計画相談事業所等を含めた支援会議の提案を行っています。保護者様からの相談にはできるだけ対応させていただきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	25	7	・無回答2 ・保護者会というものはしたことはない。 ・コロナなので、今は無理にしないでいい。 ・参加していないので、どちらとも言えないです。 ・コロナ禍なので・・・ ・わかりません。2 ・知る機会がなく把握できていません。	・父母の会という組織は作っておりません。3月の活動報告会の際に保護者様同士の意見交換の場を設定しております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	11	0	・わかりません。2 ・適切に対応していると思うが、そのような状況になっていないのでよく分からない。	・苦情受付、解決制度は整備しています。苦情を受け付けた際には、迅速かつ適切に対応できる様に努めます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	5	0	・職員により温度差を感じます。	・職員の引継ぎに温度差を感じておられるようで、大変申し訳ございません。丁寧な情報伝達ができる様努めます。
	⑬	定期的な会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	42	7	0	・月に1回のお便り「すまいる」が楽しみです。 ・毎月お便りではよく伝えてもらっている。ホームページは分からない。	・今後もセンター便り「すまいる」やホームページ等で、活動の様子をお知らせします。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	46	3	0		・個人情報の取扱いについては、十分注意するよう全職員に周知徹底しております。
非常時等の	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	34	11	3	・無回答1 ・マニュアルを拝見したことはありません。	・各マニュアルは整備し、年数回訓練を実施しています。防犯マニュアルについては、外部への公表は控えていただいています。

対応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無回答2</li> <li>・実際に災害時、どの様な対応をされるのか知りたいです。</li> <li>・知らないです。分らないです。3</li> <li>・訓練が行われているか分からないので、どちらとも言えないです。</li> <li>・訓練は行われていると思うが、実際に見ていないのでよく分かりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害など早めに対応ができるものは、送迎を早めるなどの対応し、できるだけ保護者様の元に安全にお子様をお返しするように決められています。(安全が十分に確保できた場合です。)</li> <li>保護者様の元に安全にお返しするのが困難な場合は、センターでお子様をお預かりします。センター内には30名分の食料(3日分)や夜具、簡易トイレを常備しています。センターで安全が確保されないと判断した時には、橘町の避難場所である橘公民館や南片白公民館へ避難します。</li> <li>・災害時の訓練は年2回実施しています。次年度は、放デイのお子様と一緒に避難訓練を検討しています。</li> </ul>
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	40	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無回答2</li> <li>・時々、苦手な友達がいるので気分がのらない時がある。</li> <li>・言葉がないので分からないが、嫌がることはないです。</li> <li>・高学年になり、自分でしたいことを見つけて楽しむことが多くなり、放デイに通うことが少なくなっています。</li> <li>・最近通所していない。</li> <li>・不安感がある時があります。職員さんの声かけでとても助かっています。</li> <li>・センターでの活動は楽しそうです。</li> <li>・利用した日の出来事を笑顔で話してくれています。</li> <li>・楽しく過ごしていることが、信頼と安心につながっています。これからもどうぞよろしく願います。</li> <li>・泣かずに行ける様になっています。おかげ様でありがとうございます。</li> <li>・いつもありがとうございます。楽しく通わせて頂いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様が楽しいと感じる活動や、生活に役立つ経験ができるよう活動内容を創意工夫します。</li> </ul>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	46	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無回答1</li> <li>・利用回数が少ないのに、本当によく対応して頂き助かりました。</li> <li>・いつもありがとうございます。2</li> <li>・楽しんで行ってくれているので、助かっています。いつもありがとうございます。</li> <li>・支援していただき助かっています。ありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様一人ひとりに適した支援ができるよう、今後も支援技術の向上を目指し、職員一同研鑽して参ります。</li> </ul>

※1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。